



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場取引所 東・名

上場会社名 名糖産業株式会社
コード番号 2207 URL <https://www.meito-sangyo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三矢 益夫
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 栗本 正直
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-----|------|------|------|-------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年3月期第1四半期 | 5,375 | 7.7 | △175 | — | 547 | △14.8 | 371 | 0.6 |
| 2023年3月期第1四半期 | 4,991 | 8.0 | 101 | △5.0 | 642 | 1.5 | 369 | △2.5 |

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,710百万円(383.9%) 2023年3月期第1四半期 560百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年3月期第1四半期 | 21.99 | — |
| 2023年3月期第1四半期 | 21.87 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 2024年3月期第1四半期 | 74,569 | 47,128 | 63.2 |
| 2023年3月期 | 70,276 | 44,637 | 63.5 |

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 47,128百万円 2023年3月期 44,637百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2023年3月期 | — | 13.00 | — | 13.00 | 26.00 |
| 2024年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2024年3月期(予想) | — | 13.00 | — | 13.00 | 26.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|-----|------|-----|-------|-----|-----------------|----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 | |
| 通期 | 23,300 | 2.5 | 100 | 5.2 | 1,200 | 5.9 | 800 | 14.1 | 47.33 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) 、 除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年3月期1Q | 17,265,000株 | 2023年3月期 | 17,265,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年3月期1Q | 360,236株 | 2023年3月期 | 360,230株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年3月期1Q | 16,904,769株 | 2023年3月期1Q | 16,893,723株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、雇用や所得環境の改善がみられました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引締め等による海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなり、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、個人消費に持ち直しの動きがみられるものの、エネルギー・原材料価格の高騰などに起因する各種商品の値上げが続き、消費者の節約志向が一段と高まるなど、企業にとって厳しい経営環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、おいしさ・たのしさ・健康を追求した高付加価値商品の提供、テレビCMや増量企画などの販売促進策を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べて7.7%増の5,375百万円となりました。営業損益につきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰などにより、175百万円の営業損失となりました。なお、前年同期は101百万円の営業利益でありました。また、経常利益は、受取配当金や投資有価証券売却益が増加しましたが営業利益が減少したことなどにより、前年同期と比べて14.8%減の547百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期の特別損失に投資有価証券評価損113百万円を計上したことなどもあり、前年同期と比べて0.6%増の371百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、各種商品の値上げが続き、消費者の節約志向が高まるなか、主力の菓子部門は、継続してテレビCMなどの販売施策に取り組みましたところ、好調に推移して増収となりました。チョコレート類は、主力ブランドの「アルファベットチョコレート」などのファミリーサイズ（大袋）の商品が順調に売上を伸ばしたことに加え、受託商品の売上も大きく伸びて増収となりました。また、キャンディ類は、自社商品・受託商品ともに売上が拡大して増収となりました。そのほか、連結子会社の株式会社エースペーカーリーは、主力のパウムクーヘン類は、液卵の供給制限により苦戦しましたが、ゼリー類が売上を伸ばしたことなどにより前年同期並みの売上となりました。

粉末飲料部門は、増量企画などの販売促進活動を実施しました結果、分包アソートタイプの「スティックメイト」シリーズやココア類などの売上が増えたことにより増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷凍部門は、受託商品の売上が増加しましたが、自社商品の売上が落ち込み減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ12.2%増の4,711百万円となりました。営業損益につきましては、原材料価格・エネルギーコストの高騰や液卵の供給制限による工場稼働の一部停止などにより23百万円の営業損失となりました。なお、前年同期は107百万円の営業利益でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、海外企業との販売競争が激化するなか、売上拡大を目指して精力的な営業活動を推進しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに苦戦を強いられ減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品関連用途での「デキストラン」および「デキストラン」の誘導体の売上が伸びて増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ17.8%減の595百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の減少や売上原価率の上昇などにより前年同期に比べ75.5%減の37百万円となりました。

不動産事業

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ0.3%増の68百万円となり、営業利益はゴルフ場の営業費用の増加などにより前年同期に比べ14.2%減の24百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,292百万円増加し、74,569百万円となりました。これは主に、投資有価証券が株価の上昇により増加したことや現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、1,801百万円増加し、27,441百万円となりました。これは主に、繰延税金負債や流動負債のその他に含まれる未払金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,490百万円増加し、47,128百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、63.2%（前連結会計年度末63.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、原材料価格やエネルギーコストの高騰など先行き不透明な状況が続くと予想されますが、当第1四半期連結累計期間は、概ね当初の想定した範囲内で推移しております。現時点では通期の連結業績予想につきまして、2023年5月12日に公表いたしました数値を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,251 | 6,020 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,281 | 4,091 |
| 有価証券 | 3,000 | 2,601 |
| 商品及び製品 | 1,317 | 1,515 |
| 仕掛品 | 539 | 601 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,434 | 1,777 |
| その他 | 1,211 | 950 |
| 貸倒引当金 | △2 | △11 |
| 流動資産合計 | 17,033 | 17,546 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 9,257 | 9,146 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 4,739 | 4,769 |
| その他（純額） | 4,906 | 5,854 |
| 有形固定資産合計 | 18,903 | 19,769 |
| 無形固定資産 | 83 | 79 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 33,815 | 36,736 |
| その他 | 468 | 466 |
| 貸倒引当金 | △28 | △28 |
| 投資その他の資産合計 | 34,255 | 37,174 |
| 固定資産合計 | 53,242 | 57,023 |
| 資産合計 | 70,276 | 74,569 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,138 | 3,409 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 765 | 765 |
| 未払法人税等 | 14 | 3 |
| その他 | 3,950 | 4,573 |
| 流動負債合計 | 7,868 | 8,751 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 9,844 | 9,653 |
| 繰延税金負債 | 4,678 | 5,810 |
| 役員退職慰労引当金 | 21 | 7 |
| 固定資産撤去費用引当金 | 92 | 92 |
| 退職給付に係る負債 | 2,752 | 2,766 |
| その他 | 380 | 359 |
| 固定負債合計 | 17,770 | 18,689 |
| 負債合計 | 25,639 | 27,441 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,313 | 1,313 |
| 資本剰余金 | 76 | 76 |
| 利益剰余金 | 28,931 | 29,083 |
| 自己株式 | △687 | △687 |
| 株主資本合計 | 29,633 | 29,785 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,928 | 17,286 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 74 | 56 |
| その他の包括利益累計額合計 | 15,003 | 17,342 |
| 純資産合計 | 44,637 | 47,128 |
| 負債純資産合計 | 70,276 | 74,569 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,991 | 5,375 |
| 売上原価 | 3,710 | 4,315 |
| 売上総利益 | 1,281 | 1,059 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売促進費 | 5 | 5 |
| 運送費及び保管費 | 402 | 421 |
| 給料手当及び賞与 | 387 | 398 |
| 退職給付費用 | 24 | 10 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 0 | 1 |
| 貸倒引当金繰入額 | △1 | 9 |
| 減価償却費 | 20 | 19 |
| その他 | 340 | 368 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,179 | 1,235 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 101 | △175 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 0 |
| 受取配当金 | 419 | 484 |
| 投資有価証券売却益 | - | 121 |
| 持分法による投資利益 | 14 | 12 |
| 企業立地奨励金 | 106 | 95 |
| その他 | 26 | 36 |
| 営業外収益合計 | 570 | 750 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10 | 8 |
| 固定資産除売却損 | 14 | 14 |
| その他 | 3 | 4 |
| 営業外費用合計 | 28 | 27 |
| 経常利益 | 642 | 547 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 113 | - |
| 特別損失合計 | 113 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 529 | 547 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 20 | 69 |
| 法人税等調整額 | 139 | 106 |
| 法人税等合計 | 159 | 175 |
| 四半期純利益 | 369 | 371 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 369 | 371 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 369 | 371 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 188 | 2,357 |
| 退職給付に係る調整額 | 1 | △18 |
| その他の包括利益合計 | 190 | 2,338 |
| 四半期包括利益 | 560 | 2,710 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 560 | 2,710 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|-------|-------|-------|-------------|-------------------------------|
| | 食品事業 | 化成品事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,199 | 724 | 68 | 4,991 | — | 4,991 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,199 | 724 | 68 | 4,991 | — | 4,991 |
| セグメント利益 | 107 | 152 | 28 | 288 | △186 | 101 |

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|-------|-------|-------|-------------|-------------------------------|
| | 食品事業 | 化成品事業 | 不動産事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,711 | 595 | 68 | 5,375 | — | 5,375 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,711 | 595 | 68 | 5,375 | — | 5,375 |
| セグメント利益又は損失(△) | △23 | 37 | 24 | 38 | △213 | △175 |

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。